

受付NO:
000-001

一次アセスメント票(障害児版)

氏名: 千葉 一郎 (仮名) 面接年月日: 平成28年2月4日(木)	面接目的(事前に具体的に記入) ・家庭訪問をして、一郎君の生育歴や生活状況等について情報提供をしていただきながら、現在の養育状況や家族関係、生活実態等について確認させていただく。また、一郎君にもお会いさせていただき、一郎君とご家族が希望する暮らし等に関する確認を行う。
面接者所属: 相談係 氏名: 市川陽一	

本人の概要	成育歴 療育・教育歴	<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠中、つわりが辛い時期があったが、特に変わった事はなかった。39週目に妊娠高血圧症になってしまったので、出産予定日に合わせて入院した。 ・平成22年2月3日。地元の総合病院にて出生。2480g正常分娩。出産後一週間で退院して帰宅した。 ・乳児期。混合栄養だったが、よく飲んだ。定頭5ヶ月、座位8ヶ月、お誕生日の時はいざるような四つ這いをしていった。1歳5ヶ月頃急に立てるようになり歩き始めるが、その後は落ち着きなく動き回るようになった。 ・平成23年9月、1歳6カ月健診を受けた。健診の際に〇〇市療育センターへの相談を紹介された。 ・平成24年1月。〇〇市療育センターへに行く。その後、月1回の発達相談と月2回の親子教室に通う。親子教室では簡単な課題や遊び指導があった。着席が苦手な課題にはあまり取り組めなかったが、遊びの時間は親子で楽しく参加出来ていた。 ・平成25年1月(2歳)。〇〇市療育センターのDrに「知的障害を伴う自閉症」と診断された。Drから、半年から一年程度の遅れがあるとされた。 ・平成25年4月(3歳)。Y幼稚園に3年保育で入園した。なかなか馴染めずに、落ち着いて過ごす事が出来なかった(H26/3に退園した)。 ・幼稚園に入園したため、〇〇市療育センターへの相談は月一回の発達相談のみになった。 ・平成26年4月(4歳)。Z幼稚園に入園。障害児を対象にした少人数教室に入れた。入園直後は朝に登園を渋ったり、園で癇癪を起こすことが多かったが、5月頃から大分落ち着いて過ごせるようになった。しかし行事の練習や本番が苦手で、それらが始まると状態を崩すことが多かった。 ・幼稚園の下校後や休日も苛々することが増え、母親だけで対応するのが難しくなってきたので、すすくルームの利用を始めた(不定期に土曜日に利用。長期休暇には週1~2回利用した)。ルームでは好きな事をして遊べるせいか楽しそうに通所していて、通所予定ではない日でも行きたがるがあった。 ・5歳(年長に進級)。年長になり一般園児との交流時間が中心になる。日課や雰囲気が変わったため落ち着かなくなる。少しずつ改善されたが、暴れたりして登園を渋ることもあった(ひどい時は欠席させた)。 ・家庭でも、こだわりや癇癪等がひどくなったり、夜間も寝付けない日が続くようになったので、5月に地域のクリニックに通院し服薬を始めた。ただ、秋の運動会が終わると急に穏やかに過ごせるようになり、その後は幼稚園でも家庭でも落ち着いて過ごせているとの事。
-------	---------------	---

病歴・障害歴	年 月	事項	年 月	事項
	H25/1	〇〇市療育センターで「知的障害を伴う自閉症」と診断された。	H27/5	小児科クリニックで「知的障害を伴う自閉スペクトラム症」と診断された。

療育手帳 有(無) 身体障害者手帳 有(無) 種 級 精神保健福祉手帳 有(無) 級

市町村窓口 〇〇市役所福祉課 児童相談所窓口

在籍(卒業)学校 Z幼稚園卒園予定。4月より小学校特別支援学級に入学予定。 介護給付費を利用していないので区分認定はなし。

障害支援区分 小児区分1 小児区分2 小児区分3 重心 区分1 区分2 区分3 区分4 区分5 区分6 医療型 日養介護型

福祉サービス利用状況 すすくルーム(児童発達支援)、〇〇市療育センター(発達相談)

医療機関利用状況[現在の受診状況、受診科目、頻度、主治医、疾患名]
小児科クリニックに月一回定期通院している。安定剤と睡眠導入剤が処方され服用中。

医療保険等 国民健康保険 社会保険 損害保険 生活保護

障害者医療 更生医療 育成医療 心身障害児者医療費助成
精神通院医療 乳幼児医療 難病医療費助成 小児慢性疾患費助成 子ども医療

年金・手当 障害基礎年金(級) 国民年金 障害厚生年金(級)
児童手当 特別障害者手当 障害児福祉手当 特別児童扶養手当(級)

現在使用している福祉用具
なし

○本人の生活状況(普通の1日の流れ)
7:00起床 7:30朝食 8:40着替え・幼稚園登園 (日中は幼稚園) 14:30帰宅 15:00着替え・おやつ (夕方は、お散歩したり自宅で遊ぶ) 18:00夕食 20:00入浴 22:00就床(1~2時間寝付けない。夜間の起き出しが時々ある)
幼稚園の休日も、朝と夕方以降の生活リズムは概ね同じ。日中は自宅で過ごしたり家族と出かけたりする。

○家族の生活状況 ★キーパーソン(母)
育児と家事を母親が担っていて、同居の祖母が出来る事を助力している。家族関係は良好で、両親の本児に対する愛情は深く、落ち着いて育児に取り組んでいる。最近、弟との兄弟喧嘩が多くなり、一緒にいたがらない事が多いらしい。父親は朝7時に家を出て、夜8~9時頃に帰宅する。日曜日は休みで、子供達の相手をしてくれる等育児には協力的。同居の父方祖母が育児や家事に協力しているが、健康ではあるが高齢な為体力的に難しくなっているとの事。

○本人の要望・希望する暮らし
・「いや!」「やだ!」(幼稚園は苦手。あまり行きたくない)
・「クルマ、すき」(自分の好きな事をして楽しく遊びたい)
・「おうち」(お父さんやお母さんのことは好き)
・「いく!」(ショッピングセンターに行って、好きなミニカーを買うのが好き)
・「がっこう、いく!」(近所のお兄さんが行っている学校に僕も行きたい)

○家族の要望・希望する暮らし
・小学校に入学するが、うまく馴染めるのか心配。楽しく学校に通えるようになって欲しい。
・祖母も高齢になり無理させられない。弟の世話もあり、母親だけで本児の育児や家事を賅うのが大変になってきた。
・すすくルームには今後も行かせたい(就学後は放課後等デイサービスで受け入れて貰えそう)。
・最近外出すると些細なことで癇癪を起こしたりするので、母親だけで連れ歩くことが不安。サポートしてくれる機会があると嬉しい。

利用児者の状況						
	項目	チェック内容			援助要・不要	現状・配慮が必要なこと
		実態	希望			
			本人	家族		
生活	経済状況	特記なし	なし	なし	不要	父親が会社員として働いていて相応の所得がある。同居の祖母は年金生活をしていて、世帯として経済的な困窮はないとの事。
	住環境	特記なし	なし	なし	不要	駅から徒歩10分程度の所にある、住宅地の一戸建てに住んでいる。父方祖母と同居している。近隣関係も良好との事。
健康	服薬管理	安定剤と睡眠導入剤を服用	なし	なし	要配慮	服薬内容（安定剤と睡眠導入剤を服用中） 保護者が服薬を管理している。要経過観察。
	医療的ケア	特記なし	なし	なし	不要	●無 ○有(口人工呼吸器 □気管切開 □経管栄養 □吸引 □酸素)
	食事摂取	偏食あり	なし	なし	必要に応じて要援助	■普通 □全粥 □1口大 □刻み □ペースト □流動 偏食があり、炭水化物が中心。ご飯、ふりかけ、のり、スナック菓子等
	水分摂取	偏食あり	なし	なし	必要に応じて要援助	■コップ ■ストロー □スプーン □とろみ 水やお茶が苦手で、りんごジュースを水割りにして飲んでいる。
	アレルギー	特記なし	なし	なし	不要	
	てんかん発作	特記なし	なし	なし	不要	
	睡眠	寝付きが良くない	なし	あり	必要に応じて要援助	0:00頃まで寝付けられないことが多い。夜間は良眠だが寝起きが悪い。医師に相談をして睡眠導入剤を処方して貰い服薬中。改善傾向有り。
発達	身体発達	特記なし	なし	なし	要配慮	身長 120cm 体重 30kg □首のすわり □座位 □支えて座位 □膝立ち □つかまり立ち ■独り立ち 日常生活に不自由はない。手先の不器用さが見受けられる。
	知的発達	遅滞有り	なし	あり	要	簡単な形や色の弁別、身近な事物の名称理解可。一部文字の拾い読み可だが数量理解不可。簡単な模倣や見立てあり。絵画は円錯画程度。
	ことば	遅滞あり	あり	あり	要	単語レベルだが語彙語数は少ない。身近な事柄や日常場面において、単語を繋げ話そうとする様子あり。独言やオウム返しが多く見られる。
日常生活	着脱(上衣)(ズボン)	部分介助	あり	あり	要配慮	着脱衣は概ね出来るが、ボタン操作や身繕いには点検と介助が必要。靴下の踵や靴の左右の見分けは苦手。母親が目印を付けている。
	排泄(排尿)(排便)	要介助	あり	あり	要	自宅では自分でトイレに行き排泄出来るが、自宅以外ではトイレに行かない。後始末や身繕いは要介助。
	移動(屋内)(屋外)	特記なし	なし	あり	要	日常生活における移動や生活動作に不自由はない。不慣れた場所では注意散漫になり落ち着きなくなるので見守り必要。
	入浴	要介助	あり	なし	不要	父か母と一緒に入浴。洗体洗髪は一通り出来るが、仕上げは要介助。入浴は好きで、いつも機嫌良く入っている。
コミュニケーション	意思表示	要支援	あり	あり	要	身近な相手には接近や要求行動多い。手引きや単語等で伝えられるが、表情や態度、状況を含めて理解して応じてあげる必要あり。
	意思伝達	要支援	あり	あり	要	単語や手引き行動等で意思伝達が可能。意思が伝わらないと苛々しがち。視覚支援等の代替手段を併用した方が意思疎通がし易い。
	理解	要支援	あり	あり	要	日常的な事柄であれば、簡単な言葉や身振り、サイン等で意思疎通可。非日常的な事柄については丁寧な情報伝達や対応が必要。
	対人関係	要支援	あり	あり	要	人を強く嫌ったり回避する事は無いが、積極的な関心や接近は見られない。身近な大人には、甘えるように接近したり接触したりする。
	行動障害	要支援	なし	あり	要	2~3歳頃は多動だったが、最近は大分落ち着いて行動できるとのこと。不慣れた場所は嫌がる。物の場所や道順にこだわることもある。
好き嫌い	好きなこと	有り			不要	トミカ(車)が好き。幼児向け番組も好き。身体を動かす事が好きで、キックボードや自転車乗りも好き。
	嫌いなこと	有り			要	人が大勢集まる場所や行った事がない所は苦手。バスや電車が苦手だったが、少しずつ乗れるようになってきた。
関係機関からの情報						
<p>幼稚園では、年度当初は教室や生活日課が変わり苛々しがちで、休日明けや行事等は苦手な様子が多かった。秋の運動会が終わると落ち着いて過ごせるようになり、その後は穏やかに生活出来ているとの事。すくすくルームでは、土曜日や幼稚園の長期休暇中に不定期に利用している。ルームにはすっかり馴染んでいて、利用している間は機嫌良く過ごしている様子。登所→着替え→荷物整理→個別課題→自由遊びの順で過ごしている。課題は、簡単な組み合わせパズルや創作活動に取り組んでいる。自由遊びでは、戸外で身体を動かす遊びが好きとの事。キックボードや自転車乗りが大好きで得意との事。</p>						
<p>担当者所見</p> <p>一郎君には中等度相当の知的障害及び発達障害特性が窺われ、適切な特性理解に基づいた対応や支援の提供が必要である。幼児期の生活歴からは、本児は就学に対して漠然とした関心を示してはいるが、環境の変化に対する不適応を生じる可能性をふまえた支援体制の調整と整備が必要と思われる。</p> <p>母親や家族は本児に対する愛情が深いものの、同居祖母が高齢化してきていて母親の育児や家事の負担が重くなってきており、母親の負担軽減による育児や家庭生活に関する環境整備も必要と思われる。また、本児の育児や養育に対する家族の不安感が窺われるので、継続的な相談援助の機会確保も不可欠と思われる。</p> <p>尚、現在利用しているすくすくルーム(児童発達支援事業所)においては、太郎君に対する適切な支援経過が窺われ、保護者も継続利用を希望している。すくすくルームからは、就学後は放課後等デイサービス事業での受け入れについて前向きな回答をいただく事が出来ている。</p>						